

令和2年度 宮城県 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況(通常)

通し番号	事業名	事業初期	事業終期	事業概要	総事業費(実績額) (千円)		計画 (件数等)	実績	事業成果・効果
						うち 交付金			
1	衛生資材提供事業・感染拡大防止事業関連送金	R2.4	R3.3	医療機関、社会福祉施設等における衛生資材等(マスク、消毒液等)の確保を図るほか、感染拡大防止事業関連送金を支援する。	4,500	4,500	・衛生資材等発送3,667件 ・飲食店に対する営業時間短縮の協力要請発送10,881件	・衛生資材等発送3,667件 ・飲食店に対する営業時間短縮の協力要請発送10,881件	計画どおり医療機関等へ衛生資材等を発送するとともに、飲食店に対し営業時間短縮の協力要請を発送し、感染拡大を防止した。
2	学校保健特別対策事業	R2.4	R3.3	私立学校の感染症対策の徹底に向け支援する。	3,161	3,161	私立学校27校にマスク、消毒液の購入費用補助	私立学校27校にマスク、消毒液の購入費用補助	計画どおり衛生用品を確保することで、対象校で大規模の蔓延を防ぐことができた。
3	県有施設利用制限等協力金 (以下内訳①～⑤)	R2.4	R3.3	感染症拡大防止のための利用制限等を実効的なものとするための協力金。	693,341	693,341	以下参照	以下参照	以下参照
3-1	県有施設利用制限等協力金 ①宮城県総合運動公園等	R2.4	R3.3	感染症拡大防止のための利用制限等を実効的なものとするための協力金(対象:宮城県総合運動公園(県サッカー場含む)、宮城野原公園総合運動場、第二総合運動場、仙南総合プール、長沼ボート場、ライフル射撃場)	271,840	271,840	県有体育施設6件の指定管理者に対して、以下の経費を補助 ・新型コロナウイルス感染症の影響によりキャンセル料を返還した場合の返還金相当額 ・新型コロナウイルス感染症の影響による収容制限を行った場合の使用料減免相当額 ・「新しい生活様式」を踏まえて感染拡大防止のために要する経費	県有体育施設6件の指定管理者に対して、以下の経費を補助 ・新型コロナウイルス感染症の影響によりキャンセル料を返還した場合の返還金相当額 ・新型コロナウイルス感染症の影響による収容制限を行った場合の使用料減免相当額 ・「新しい生活様式」を踏まえて感染拡大防止のために要する経費	計画どおり全施設に対して感染拡大防止のための利用制限等に係る支援を実施し、クラスターの発生を防止した。
3-2	県有施設利用制限等協力金 ②県民会館	R2.4	R3.3	感染症拡大防止のための利用制限等を実効的なものとするための協力金(対象:県民会館)	84,936	84,936	利用者への返還措置:21,287千円 減免措置経費:9,221千円 施設の内滑り利用再開に要する経費:59,992千円	利用者への返還措置:20,017千円 減免措置経費:4,927千円 施設の内滑り利用再開に要する経費:59,992千円	返還措置や減免措置を行うことにより、利用者の負担を軽減するとともに、利用者・観客双方が安心して文化芸術に触れられる機会を提供した。
3-3	県有施設利用制限等協力金 ③みやぎ産業交流センター	R2.4	R3.3	感染症拡大防止のための利用制限等を実効的なものとするための協力金。(対象:みやぎ産業交流センター)	334,351	334,351	みやぎ産業交流センター指定管理者に対して、以下1～4の経費を補助 1:新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、指定管理者の要請又は施設利用者の申出により、イベント等の開催のために既に予約されていた施設予約の取消しを行った際、既に徴収していた利用料金を返還した上で予約の取消しを行った措置又は取消料を徴収せずに予約の取消しを行った措置 2:宮城県新型コロナウイルス感染症対策本部において決定された「イベント等の開催基準」に基づき設定された施設の収容率又は人数制限に応じて実施した施設の利用料金減免措置実施件数80件に係る減免相当額 ・感染症拡大防止のための環境整備措置に係る経費(施設内消毒液の設置、感染対策用品の購入等)の交付 3:新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために実施した施設内の環境整備の措置 4:その他新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために実施した措置で知事が特に認めるもの	みやぎ産業交流センターに対して、以下の経費を補助 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、指定管理者の要請又は施設利用者の申出により、イベント等の開催のために既に予約されていた施設予約の取消しを行った際、既に徴収していた利用料金を返還した上で予約の取消しを行った措置又は取消料を徴収せずに予約の取消しを行った措置 ・みやぎ産業交流センターに対して、以下の経費を補助 ・「イベント等の開催基準」に基づき設定された施設の収容率又は人数制限に応じて実施した施設の利用料金減免措置実施件数80件に係る減免相当額 ・感染症拡大防止のための環境整備措置に係る経費(施設内消毒液の設置、感染対策用品の購入等)の交付	みやぎ産業交流センターに対して協力金を交付し、当該施設で開催した催事における、クラスターの発生を防止した。(R2年度におけるみやぎ産業交流センターのクラスター発生件数0件)
3-4	県有施設利用制限等協力金 ④仙台塩釜港仙台港区中央公園	R2.4	R3.3	感染症拡大防止のための利用制限等を実効的なものとするための協力金(対象:仙台塩釜港仙台港区中央公園)	273	273	県有施設の感染症対策経費に対する助成 ・マスク2,780枚 ・消毒液45個 ・せっけん16個 ・体温計1個 ・アクリル板1個	県有施設の感染症対策経費に対する助成 ・マスク2,780枚 ・消毒液45個 ・せっけん16個 ・体温計1個 ・アクリル板1個	計画どおり県有施設の感染症対策に要した経費の助成を行い、利用者及び職員のクラスターを防止した。
3-5	県有施設利用制限等協力金 ⑤婦人会館	R2.12	R3.3	感染症拡大防止のための利用制限等を実効的なものとするための協力金。(対象:婦人会館)	1,941	1,941	婦人会館の指定管理者に対し、感染拡大の影響による使用料収入の減収分(H29～R1平均との差額)及び感染防止対策に必要な消耗品等を整備する経費を補助	婦人会館の指定管理者に対し、感染拡大の影響による使用料収入の減収分(H29～R1平均との差額)及び感染防止対策に必要な消耗品等を整備する経費を補助	婦人会館の指定管理者に対して補助を実施し、運営継続を支援するとともに、クラスター等大規模の蔓延を防ぐことができた。
4	消費生活相談事業	R2.5	R3.3	新型コロナウイルスに関連する相談件数の急増に備え、感染拡大防止に必要な措置を講じ、消費者相談体制の強化を図る。	1,030	1,030	・相談員用ヘッドセット(16台) ・飛沫感染防止用アクリルパーテーション(13台) ・折りたたみパーテーション(2台) ・来所相談用飛沫感染防止用品(マスク・消毒液) ・相談対応用カラプリンター(1台)	・相談員用ヘッドセット(16台) ・飛沫感染防止用アクリルパーテーション(20台) ・折りたたみパーテーション(6台) ・来所相談用飛沫感染防止用品(マスク・消毒液・非接触型体温計) ・相談対応用カラプリンター(1台)	マスク、パーテーション、消毒液等を確保し、各施設内の蔓延を防止した。 令和2年度に寄せられた700件の消費生活相談に対応した。
5	地方消費生活相談運営費	R2.5	R3.3	新型コロナウイルスに関連する相談件数の急増に備え、感染拡大防止に必要な措置を講じ、消費者相談体制の強化を図る。	458	458	・飛沫感染防止用アクリルパーテーション(16台) ・来所相談用飛沫感染防止用品(マスク・消毒液)	・飛沫感染防止用アクリルパーテーション(3台) ・来所相談用飛沫感染防止用品(マスク・消毒液・ウェットティッシュ)	マスク、パーテーション、消毒液等を確保し、各施設内の蔓延を防止した。 令和2年度に寄せられた700件の消費生活相談に対応した。
6	環境衛生監視指導費	R2.5	R3.3	新型コロナウイルス感染症により死亡した方の遺体から、当該遺体取扱者への感染防止を図る。	119	119	・マスク210枚確保 ・手袋200双確保 ・ガウン150枚確保 ・フェイスシールド200個確保	・マスク210枚確保 ・手袋200双確保 ・ガウン150枚確保 ・フェイスシールド200個確保	全国的かつ急激に需要が高まった非透過性身体袋の不具合等を想定し、当該物品を確保することで、関係者の感染対策の備えとした。
7	感染症拡大防止事業	R2.4	R3.3	衛生資材等(マスク、消毒液等)を確保し、新型コロナウイルス感染症拡大防止策の充実を図る。	5,352	5,352	感染症対策のためのマスクを確保し、新型コロナウイルス感染症拡大防止策の充実を図る。 購入予定数:不織布マスク 37万枚	不織布マスク47万枚を購入した。	本事業によるマスクの購入により、品薄時に保健所や市町村へ配布するなど、緊急時の対応に備えることができた。
8	障害者総合支援事業費補助金	R2.6	R3.3	障害者支援施設等に感染拡大を防止するための簡易除菌装置・換気設備の設置・設置する。	32,277	10,764	・県内障害者支援施設等11施設に対して、簡易除菌装置・換気設備の設置補助を実施 ・県立障害者支援施設等4施設に対して、簡易除菌装置の設置を実施	・県内障害者支援施設等11施設に対して、簡易除菌装置・換気設備の設置補助を実施 ・県立障害者支援施設等4施設に対して、簡易除菌装置の設置を実施	計画どおり簡易除菌装置・換気設備の設置をすることで、クラスター等大規模の蔓延を防ぐことができた。
9	宮城県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金	R2.5	R3.3	感染症拡大防止のための休業要請等を実効的なものとするための協力金。	2,690,400	2,690,400	・対象区域 県内全域 ・要請対象者 休業要請等に協力した事業者(大企業を除く):29,000件	事業者:13,452件	休業要請等の協力要請を受けた多くの事業者に協力をいただき、感染症拡大防止につながった。
10	防災活動支援事業	R2.8	R3.3	水防活動の実施に際して、個人の感染防護を行うための資機材を県の水防倉庫(19カ所)に備え、水防活動時における感染防護に資する。	1,899	1,899	県の水防倉庫19カ所に水防活動時に使用する個人防護具を備蓄する。	県の水防倉庫19カ所に水防活動時に使用する個人防護具を備蓄した。	個人防護具の備蓄により、水防活動時に感染拡大を防止しながらの活動が可能となった。
11	地域環境整備事業	R2.9	R3.3	県管理河川及び海岸の維持管理に係るボランティアで活動する愛護団体やスマイルサポーター(1パー、ビーチ)の活動時に使用する感染防護のための物品提供を行うことで、地域の環境美化、参加者の感染防止に資する。	3,405	3,405	スマイルサポーター200団体に対するマスク、フェイスシールド、手袋、消毒液の物品提供	スマイルサポーター148団体に対して、マスク、フェイスシールド、手袋、消毒液の物品提供	物品を希望しない団体があったため、団体数は計画より少なくなったが、ボランティア活動時に提供した個人防護具を使用することで、安心して、また、感染拡大を防止しながらの活動が可能となった。
12	港湾環境美化活動物品等支援事業	R2.7	R3.3	県管理港湾及び海岸の美化活動を行う団体に対し、感染拡大防止対策を講じて行う美化活動に際して必要となる物品提供を行うことで、参加者の感染防止及び地域の環境美化を図る。	174	174	感染症対策物品(マスク、フェイスシールド、手袋、消毒液等)を購入し、スマイルサポーター40団体へ交付	感染症対策物品(マスク、フェイスシールド、手袋、消毒液等)を購入し、スマイルサポーター22団体へ交付	計画した団体数を下回ったものの、対象団体の感染症対策物品を提供し、クラスターの発生を防止した。
13	感染拡大防止事業(中高一貫教育推進事業)	R2.5	R3.3	・県立学校の学校休業時において生徒へ課題等を発送することにより学校支援の充実を図る。 ・県立中学校の新型コロナウイルス感染症対策に当たり必要となる衛生資材(マスク・消毒液等)の整備充実を図る。	850	850	・県立中学校2校においてマスク・アルコール消毒液等を整備 ・一斉休業に伴う生徒への課題発送費	・県立中学校2校においてマスク・アルコール消毒液等を整備 ・一斉休業に伴う生徒への課題発送費	・県立中学校においてマスク・アルコール消毒液等を整備し、学校施設で感染症対策を実施した。 ・休業中に生徒に必要な課題等を円滑に発送した。
14	感染拡大防止事業(全日制高校)	R2.5	R3.3	・全日制高校の学校休業時において生徒へ課題等を発送することにより学校支援の充実を図る。 ・全日制高校の新型コロナウイルス感染症対策に当たり必要となる衛生資材(マスク・消毒液等)及び学校再開に当たり必要となる教材(デジタル教材等)の整備充実を図る。	61,910	61,910	・全日制高校65校においてマスク・アルコール消毒液等を整備 ・一斉休業に伴う生徒への課題発送費	・全日制高校65校においてマスク・アルコール消毒液等を整備 ・一斉休業に伴う生徒への課題発送費	・全日制高校においてマスク・アルコール消毒液等を整備し、学校施設で感染症対策を実施した。 ・休業中に生徒に必要な課題等を円滑に発送した。
15	感染拡大防止事業(定時制高校)	R2.5	R3.3	・定時制高校の学校休業時において生徒へ課題等を発送することにより学校支援の充実を図る。 ・定時制高校の新型コロナウイルス感染症対策に当たり必要となる衛生資材(マスク・消毒液等)及び学校再開に当たり必要となる教材(デジタル教材等)の整備充実を図る。	7,043	7,043	・定時制高校6校においてマスク・アルコール消毒液等を整備 ・一斉休業に伴う生徒への課題発送費	・定時制高校6校においてマスク・アルコール消毒液等を整備 ・一斉休業に伴う生徒への課題発送費	・定時制高校においてマスク・アルコール消毒液等を整備し、学校施設で感染症対策を実施した。 ・休業中に生徒に必要な課題等を円滑に発送した。
16	感染拡大防止事業(通信制)	R2.5	R3.3	・通信制高校の学校休業時において生徒へ課題等を発送することにより学校支援の充実を図る。 ・通信制高校の新型コロナウイルス感染症対策に当たり必要となる衛生資材(マスク・消毒液等)及び学校再開に当たり必要となる教材(デジタル教材等)の整備充実を図る。	58	58	・通信制高校1校においてマスク・アルコール消毒液等を整備 ・一斉休業に伴う生徒への課題発送費	・通信制高校1校においてマスク・アルコール消毒液等を整備 ・一斉休業に伴う生徒への課題発送費	・通信制高校においてマスク・アルコール消毒液等を整備し、学校施設で感染症対策を実施した。 ・休業中に生徒に必要な課題等を円滑に発送した。
17	感染拡大防止事業(特別支援学校)	R2.5	R3.3	臨時休業に伴う分散登校の実施で、授業日数が延長されたことに伴う、熱中症対策としてのエアコン稼働や給食提供を行う。	1,912	1,912	県立特別支援学校19校に対して保健衛生資材等の整備、及び臨時休業期間中の学習支援を実施	県立特別支援学校19校に対して保健衛生資材等の整備、及び臨時休業期間中の学習支援を実施	計画どおり保健衛生資材等を確保することで、対象校でクラスター等大規模の蔓延を防ぐことができた。
18	県有体育施設再開支援事業	R2.5	R3.3	県有体育施設の再開に当たり必要となる衛生資材等(消毒液等)を整備し、新型コロナウイルス感染症拡大防止策の充実を図る。	7,151	7,151	・県有体育施設6施設に対し、再開支援のためマスク・アルコールジェル・除菌剤等を配布 ・県有体育施設4施設に対し感染対策に必要なサームラカメラ等の購入費用を補助	・県有体育施設6施設に対し、再開支援のためマスク・アルコールジェル・除菌剤等を配布 ・県有体育施設4施設に対し感染対策に必要なサームラカメラ等の購入費用を補助	計画どおり県有体育施設に対し、必要な感染対策が行われクラスターの発生を防止した。
19	自然の家感染症対策事業	R2.5	R3.3	必要な衛生資材等(マスク、消毒液、サーモグラフィ、非接触型体温計等)を整備するとともに、食堂テーブルにアクリルパネルを設置することで、県立3自然の家における新型コロナウイルス感染症拡大防止策の充実を図る。	2,144	2,144	・県立自然の家(3施設)において、マスク、消毒液、サーモグラフィ、非接触型体温計等感染症対策に必要な消耗品等を整備 ・各自然の家食堂テーブルにアクリルパネルを設置	・県立自然の家(3施設)において、マスク、消毒液、サーモグラフィ、非接触型体温計等感染症対策に必要な消耗品等を整備 ・各自然の家食堂テーブルにアクリルパネルを設置	計画どおり感染防止対策に必要な消耗品、食堂テーブル用アクリルパネル等を整備することで、自然の家(3施設)において、クラスター等大規模の蔓延を防ぐことができた。
20	婦人会館感染症対策事業	R2.5	R3.3	必要な衛生資材等(マスク、消毒液等)を整備することで、婦人会館における新型コロナウイルス感染症拡大防止策の充実を図る。	250	250	婦人会館において、マスク1,500枚、消毒液(1L)10本、非接触型体温計5個等感染症対策に必要な消耗品等を整備	婦人会館において、マスク1,500枚、消毒液(1L)10本、非接触型体温計5個等感染症対策に必要な消耗品等を整備	計画どおり感染防止対策に必要な消耗品等を整備することで、婦人会館において、クラスター等大規模の蔓延を防ぐことができた。
21	警察活動における感染症対策費	R2.4	R3.3	警察活動を実施するに当たり必要となる衛生用品(マスク、消毒液等)を整備し、新型コロナウイルス感染症拡大防止策の充実を図る。	7,021	7,021	・マスク259,000枚確保 ・消毒液620本確保 ・フェイスシールド700セット確保 ・ゴム手袋約180,000枚確保 (事業初期R2.4、R2.11の合計)	・マスク約259,000枚確保 ・消毒液620本確保 ・フェイスシールド700セット確保 ・ゴム手袋約180,000枚確保 (事業初期R2.4、R2.11の合計)	計画どおりマスク等の衛生用品を整備し、関連施設で蔓延を防止した。
22	警察活動における感染症対策費	R2.4	R3.3	警察活動を実施するに当たり必要となる衛生用品(マスク、消毒液等)を整備し、新型コロナウイルス感染症拡大防止策の充実を図る。	1,262	1,262	・マスク9,000枚整備 ・消毒液330L整備	・マスク9,000枚整備 ・消毒液330L整備	計画どおりマスク及び消毒液を整備して関係所屬に配分し、感染拡大を防止した。

通し番号	事業名	事業始期	事業終期	事業概要	総事業費(実績額) (千円)		計画 (件数等)	実績	事業成果・効果
						うち 交付金			
170-5	中小企業経営支援等対策費補助金 ⑤テレワーク導入促進事業	R2.9	R3.3	相談窓口の設置、専門家派遣による伴走型支援、セミナーの開催等を行い、県内企業のテレワーク導入を促進する。	12,498	3,333	・伴走型支援企業数:30社	・伴走型支援企業数:7社	伴走型支援企業数は計画に対し少なかったが、県内企業のテレワーク導入を支援し、テレワークの推進に貢献した。
171	外国人受入環境整備交付金	R2.4	R3.3	健康相談窓口の多言語化及び多言語での情報発信の強化を図り、外国人の不安解消につなげる。	5,177	1,718	多言語コールセンターによる健康相談窓口の多言語対応及びHP等における多言語での情報発信を行う。	・新型コロナウイルス感染症受診・相談センターにおいて12言語での多言語対応を実施。 多言語コールセンター利用件数:50件 ・外国人県民に対し様々な情報発信を行っている(公財)宮城県国際化協会のHPにドナルド語と日本語の2言語を追加し、新型コロナウイルス関連情報を幅広く発信した。	多言語での相談窓口対応及び多言語での情報発信により、外国人県民への正確な情報伝達が行われ、外国人県民の不安解消が図られた。
172	宮城県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金	R2.12	R3.3	感染症拡大防止のための営業時間短縮の協力要請を実効的なものとするための協力金。	177,000	177,000	・対象区域 仙台市青葉区一番町4丁目地区および国分町2丁目地区 ・要請対象者 接待を伴う飲食店850件 酒類を提供する飲食店1,550件	接待を伴う飲食店276件 酒類を提供する飲食店1,199件	営業時間等短縮の協力要請を受けた多くの酒類を提供する飲食店等に協力をいただき、感染症拡大防止につながった。
173	宮城県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金(R3.1.12~R3.1.27)	R3.1	R3.3	感染症拡大防止のための営業時間短縮の協力要請を実効的なものとするための協力金。	177,600	177,600	・対象区域 仙台市青葉区一番町4丁目地区および国分町2丁目地区 ・要請対象者 接待を伴う飲食店850件 酒類を提供する飲食店1,550件	接待を伴う飲食店277件 酒類を提供する飲食店1,203件	営業時間等短縮の協力要請を受けた多くの酒類を提供する飲食店等に協力をいただき、感染症拡大防止につながった。
174	宮城県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金(R3.1.27~R3.2.8)	R3.1	R3.3	感染症拡大防止のための営業時間短縮の協力要請を実効的なものとするための協力金。	416,064	416,064	・対象区域 仙台市全域 ・要請対象者 接待を伴う飲食店1,000件 酒類を提供する飲食店9,000件	接待を伴う飲食店310件 酒類を提供する飲食店4,024件	営業時間等短縮の協力要請を受けた多くの酒類を提供する飲食店等に協力をいただき、感染症拡大防止につながった。
175	宮城県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金(至急対応分)	R3.2	R3.8	感染症拡大防止のための営業時間短縮の協力要請を実効的なものとするための協力金。	426,536	426,536	・対象区域 仙台市全域 ・要請対象者 接待を伴う飲食店1,000件 酒類を提供する飲食店9,000件	接待を伴う飲食店330件 酒類を提供する飲食店4,517件	営業時間等短縮の協力要請を受けた多くの酒類を提供する飲食店等に協力をいただき、感染症拡大防止につながった。
176	新型コロナウイルス感染症対応事業者支援市町村補助金(第二期)	R3.2	R4.3	新型コロナウイルス感染症の影響により業績が悪化している事業者等を支援するため、各市町村が実施する事業者支援に対して総合的に支援することにより、影響からの早期脱却を図る。	2,925,156	2,925,156	・交付対象 県内35市町村	事業実施市町村数:35市町村 実施事業数:82事業	新型コロナウイルスで影響を受けている事業者に対し、各市町村の実状に応じて総合的に支援することができた。
177	職業能力開発校設備整備費等補助金	R2.6	R3.3	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る新しい生活様式に対応するため、公共職業訓練において、デジタル技術を活用したオンラインによる訓練を実施する。	3,013	3,013	・公共職業訓練において、デジタル技術を活用したオンラインによる訓練を実施する。 ・Web会議システム等導入設定費(1式3,300千円)	Web会議システム等導入のための回線整備	オンラインの環境整備の導入したことにより、オンライン訓練を実施することで、コロナ禍においても、円滑に訓練を実施することができた。
178	担い手育成・確保等対策地方公共団体事業費補助金	R2.5	R3.3	就農するための研修に必要な機械・設備の導入により、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による人手不足の解消や農業生産の維持を図る。	61,361	24,545	トラクター4台、ハイクハク3機、リモコン式刈り機1台、ドローン1台、穀粒成分分析器1台、マルチ水質計1台、ランコム動力噴霧機1台、OAS冷凍凍結庫1台、味噌加工製造機1式、動物用超音波画像診断装置1台、発情・疾病兆候検知センサー2台、分娩監視カメラ1台、分娩発情検知器1台	トラクター4台、ハイクハク3機、リモコン式刈り機1台、ドローン1台、穀粒成分分析器1台、マルチ水質計1台、ランコム動力噴霧機1台、OAS冷凍凍結庫1台、味噌加工製造機1式、動物用超音波画像診断装置1台、発情・疾病兆候検知センサー2台、分娩監視カメラ1台、分娩発情検知器1台	導入した機器等により農業法人等で即戦力となる人材育成を実施した結果、コロナ禍ながら農業大学校養成課程卒業生の就職率は前年度と同水準を維持した。
179	漁業近代化資金利子補給事業	R2.11	R3.3	漁業者等が漁船等の資本整備を図る際に漁協等の系統資金を利用した場合、その金利の一部に利子補給を行い、漁業者等の経費負担の軽減を図る。	509	509	利子補給額 509千円	利子補給額(見込含む) 509千円	利子補給を行うことで経営の悪化した漁業者の金銭的負担を軽減し、その経営の維持及び再建に寄与した。
180	公立学校情報機器整備費補助金	R2.5	R3.3	ICTの活用により全ての子どもたちの学びを保障できる環境を早急に実現するため、GIGAスクールサポーターを設置し、県立学校におけるICT活用の円滑化を図る。	59,950	23,980	GIGAスクールサポーターの設置及び随時派遣を行う。(約1,100日分・公立学校情報機器整備費補助金の地方負担分に充当)	GIGAスクールサポーターの設置及び随時派遣を行う。(約1,100日分・公立学校情報機器整備費補助金の地方負担分に充当)	計画どおりGIGAスクールサポーターを設置・派遣することで、全ての県立学校における各種ICT機器の初期設定、運用マニュアルの策定、危機管理体制の確立に向けた助言・指導等を実施することができた。
181	学校保健特別対策事業費補助金	R2.5	R3.3	県立学校の新型コロナウイルス感染症対策に当たり必要となる衛生資材(マスク・消毒液等)の整備充実を図る。	14,180	7,090	・県立中学校2校及び高校72校においてマスク・アルコール消毒液等を整備 ・県立特別支援学校19校に対して保健衛生資材等の整備を実施	・県立中学校2校及び高校72校においてマスク・アルコール消毒液等を整備 ・県立特別支援学校19校に対して保健衛生資材等の整備を実施	・マスク・アルコール消毒液を整備し、学校施設で感染症対策を実施した。 ・計画どおり保健衛生資材等を確保することで、対象校でクラスター等大規模の蔓延を防ぐことができた。
182	学校保健特別対策事業費補助金	R2.5	R3.3	県立学校の学校再開に当たり必要となる教材(デジタル教材等)の整備充実を図る。	224,993	112,483	・県立中学校2校及び高校72校において学校再開に当たり必要となる感染症対策備品及び授業再開に必要な教材等を整備 ・県立特別支援学校19校に対して学校再開に当たり必要となる教材(デジタル教材等)の整備充実を実施	・県立中学校2校及び高校72校において学校再開に当たり必要となる感染症対策備品及び授業再開に必要な教材等を整備 ・県立特別支援学校19校に対して学校再開に当たり必要となる教材(デジタル教材等)の整備充実を実施	・県立学校において学校再開に必要な感染症対策備品やデジタル教材等の整備した。 ・計画どおりデジタル教材等を整備することで、休業中の授業の遅れを回復させることができた。
183	公立学校情報機器整備費補助金	R2.5	R3.3	県立中学校及び高校、特別支援学校において、実地でのオンライン学習環境整備の一環として、学校からの遠隔学習の配信体制を構築する。	3,148	1,284	・県立中学校2校及び高校72校を対象に遠隔教育に活用できるWEBカメラ等を整備 ・県立特別支援学校19校に対して学習保障に必要な教材の整備	・県立中学校2校及び高校72校を対象に遠隔教育に活用できるWEBカメラ等を整備 ・県立特別支援学校19校に対して学習保障に必要な教材の整備	県立学校においてオンライン学習や遠隔授業を実施するために必要な機器を整備した。
184	ICT教育環境整備促進事業	R2.5	R3.3	県立中学校及び高校において、家庭でのオンライン学習環境整備の一環として、学校からの遠隔学習の配信体制を構築する。	8,900	8,900	県立中学校2校及び高校72校を対象に遠隔教育に活用できるWEBカメラ等を整備	県立中学校2校及び高校72校を対象に遠隔教育に活用できるWEBカメラ等を整備	県立学校においてオンライン学習や遠隔授業を実施するために必要な機器を整備した。
185	ICT教育環境整備促進事業	R2.5	R3.3	県立中学校において、タブレット端末(一人に1台)の整備充実を図る。	12,567	12,567	県立中学校2校を対象にタブレット端末及びモバイルルーターを整備	県立中学校2校を対象にタブレット端末及びモバイルルーターを整備	県立学校においてオンライン学習や遠隔授業を実施するために必要な機器を整備した。
186	ICT教育環境整備促進事業	R2.5	R3.3	県立高校において、タブレット端末(三人に1台)等の整備充実及び遠隔授業のための機器(ルーター)整備を図る。	764,522	764,522	県立高校72校を対象にタブレット端末及びモバイルルーター等を整備	県立高校72校を対象にタブレット端末及びモバイルルーター等を整備	県立学校においてオンライン学習や遠隔授業を実施するために必要な機器を整備した。
187	学校保健特別対策事業費補助金	R2.5	R3.3	特別支援学校の感染症対策に当たり必要な、スクールバスにおける三密対策のためのバスの増便等を行う。	5,783	2,892	県立特別支援学校6校に対してスクールバスにおける乗車人数の少数化を図るため、バスの増便を実施	県立特別支援学校6校に対してスクールバスにおける乗車人数の少数化を図るため、バスの増便を実施	計画どおりスクールバスを増便することで、対象校でクラスター等大規模の蔓延を防ぐことができた。
188	感染拡大防止事業(特別支援学校)	R2.5	R3.3	特別支援学校の感染症対策に当たり必要な衛生資材等(マスク、消毒液等)を整備し、スクールバスにおける三密対策のためのバスの増便等を行う。	29,305	29,305	県立特別支援学校6校に対してスクールバスにおける乗車人数の少数化を図るため、バスの増便を実施	県立特別支援学校6校に対してスクールバスにおける乗車人数の少数化を図るため、バスの増便を実施	計画どおりスクールバスを増便し、保健衛生資材等を確保することで、対象校でクラスター等大規模の蔓延を防ぐことができた。
189	公立学校情報機器整備費補助金(特別支援学校プログラミング推進事業)	R2.5	R3.3	ICTの活用により全ての子どもたちの学びを保障できる環境を早急に実現するため、学校及び家庭の環境整備を図り、学校からの遠隔学習の配信体制を構築する。 また、特別支援学校の小中学部の児童生徒に対して、1人1台となるよう全児童生徒数の2/3にあたる台数のタブレット端末を調達する。	37,407	6,807	県立特別支援学校の小中学部の児童生徒に対して全児童生徒数の2/3にあたる台数のタブレット端末の整備	県立特別支援学校の小中学部の児童生徒に対して全児童生徒数の2/3にあたる台数のタブレット端末の整備	計画どおりタブレットを整備することで、対象校において分散した授業展開が促進され、クラスター等大規模の蔓延を防ぐことができた。
190	文化芸術振興費補助金	R2.5	R3.3	必要な衛生資材等(マスク、消毒液、サーモグラフィ、非接触型体温計等)を整備し、美術館における新型コロナウイルス感染症拡大防止策の充実を図る。	617	246	県美術館において、マスク、消毒液、サーモグラフィ、非接触型体温計等感染症防止対策に必要な消耗品等を整備	県美術館において、マスク、消毒液、サーモグラフィ、非接触型体温計等感染症防止対策に必要な消耗品等を整備	計画どおり感染防止対策に必要な消耗品等を整備することで、県美術館において、クラスター等大規模の蔓延を防ぐことができた。
191	文化芸術振興費補助金	R2.5	R3.3	必要な衛生資材等(マスク、消毒液等)を整備し、博物館施設における新型コロナウイルス感染症拡大防止策の充実を図る。	17,246	6,075	・館内各所に衛生用品を確保 ・空調設備の改修	・館内各所に衛生用品を確保 ・空調設備の改修	計画どおり衛生用品の確保や空調環境の整備により、施設内の衛生環境及び空気環境を改善し、施設内でクラスター等の蔓延を防止した。
192	公立学校情報機器整備費補助金(特別支援学校プログラミング推進事業)	R2.6	R3.3	ICTの活用により全ての子どもたちの学びを保障できる環境を早急に実現するため、学校及び家庭の環境整備を図り、学校からの遠隔学習の配信体制を構築する。 また、特別支援学校の小中学部の児童生徒に対して、1人1台となるよう全児童生徒数の2/3にあたる台数のタブレット端末を調達する。	75	75	県立特別支援学校の小中学部の児童生徒に対して全児童生徒数の2/3にあたる台数のタブレット端末の整備	県立特別支援学校の小中学部の児童生徒に対して全児童生徒数の2/3にあたる台数のタブレット端末の整備	計画どおりタブレットを整備することで、対象校において分散した授業展開が促進され、クラスター等大規模の蔓延を防ぐことができた。
193	教育情報ネットワーク運用事業	R3.2	R3.3	ICTの活用により全ての子どもたちの学びを保障できる環境を早急に実現するため、自宅学習支援のための体制整備を図る。	2,530	2,530	県全体で導入している教育支援ツールG Suiteの運用支援業務を実施	県全体で導入している教育支援ツールG Suiteの運用支援業務を実施	計画どおり運用支援業務を実施することで、自宅学習支援のための体制を整備することができた。
194	県立学校ICT機器整備推進事業	R2.12	R3.3	教員のICTを活用して授業を行う一斉学習の環境(MIYAGI Style Ver.1)を早期に整備し、ICTを活用した学習指導力の向上を図り、情報化社会・グローバル社会において主体的に学び、考え行動するみやぎの児童・生徒の育成を目指す。	15,146	15,146	タブレット用キーボード2,514台及びタッチペン112本を整備	タブレット用キーボード2,514台及びタッチペン112本を整備	計画どおりタブレット用キーボード及びタッチペンを整備することで、一斉学習環境の早期整備を実現することができた。
195	学校臨時休業対策費補助金	R2.7	R3.3	新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、臨時休業となった学校給食に係る経費について給食費会計に補助を行い、保護者の負担軽減を図る。	362	92	県立学校9校の給食費会計に対して、令和元年度3月分の給食費キャンセル料等の補助を実施	県立学校9校の給食費会計に対して、令和元年度3月分の給食費キャンセル料等の補助を実施	補助金を臨時休業に伴う給食費のキャンセル料等に充てたことで、保護者の負担を軽減することができた。
196	美術館感染症対策事業	R2.5	R3.3	必要な衛生資材等(マスク、消毒液、サーモグラフィ、非接触型体温計等)を整備し、美術館における新型コロナウイルス感染症拡大防止策の充実を図る。	1,670	1,670	県美術館において、マスク、消毒液、サーモグラフィ、非接触型体温計等感染症防止対策に必要な消耗品等を整備	県美術館において、マスク、消毒液、サーモグラフィ、非接触型体温計等感染症防止対策に必要な消耗品等を整備	計画どおり感染防止対策に必要な消耗品等を整備することで、県美術館において、クラスター等大規模の蔓延を防ぐことができた。
197	警察活動における感染症対策費	R2.11	R3.3	警察活動を実施するに当たり必要な衛生用品(マスク、消毒液等)を整備し、新型コロナウイルス感染症拡大防止策の充実を図る。	2,098	2,098	・マスク259,000枚確保 ・消毒液620本確保 ・フェイスシールド700セット確保 ・ゴム手袋約180,000枚確保 (事業始期R2.4、R2.11の合計)	・マスク約259,000枚確保 ・消毒液620本確保 ・フェイスシールド700セット確保 ・ゴム手袋約180,000枚確保 (事業始期R2.4、R2.11の合計)	計画どおりマスク等の衛生用品を整備し、関連施設で蔓延を防止した。
198	警察活動における感染症対策費	R2.11	R3.3	警察本部庁舎、各警察署において、新型コロナウイルス感染症拡大防止に資するための機器を購入する。	2,777	2,777	警察本部及び県下25警察署にタブレット型サーマルカメラを購入(27台)	警察本部及び県下25警察署にタブレット型サーマルカメラを購入(27台)	庁舎出入口に設置し、入庁者の検温を実施することで、施設内の新型コロナウイルス感染症拡大を防止した。
199	警察活動における感染症対策費	R2.11	R3.3	各免許センター等において、新型コロナウイルス感染症拡大防止に資するための機器を購入する。	720	720	サーマルカメラ7台購入	サーマルカメラ7台購入	県運転免許センター及び各サブセンター出入口にサーマルカメラを設置し、更新等手続き前に発熱者を早期把握することで、新型コロナウイルス感染症拡大を防止した。
200	警察活動における感染症対策費	R2.11	R3.3	2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に伴い、警察活動を実施するに当たり必要な衛生用品(マスク、消毒液)を整備し、新型コロナウイルス感染症拡大防止策の充実を図る。	80	80	・マスク200箱確保 ・消毒液60本確保	・マスク200箱確保 ・消毒液60本確保	計画どおりマスク及び消毒液を確保し、部隊員の感染拡大を防止した。
201	警察活動における感染症対策費	R2.11	R3.3	第40回豊かな海づくり大会開催に伴い、警察活動を実施するに当たり必要な衛生用品(マスク、消毒液)を整備し、新型コロナウイルス感染症拡大防止策の充実を図る。	1,287	1,287	・マスク780箱確保 ・消毒液1,500本確保 ・フェイスシールド500個確保	・マスク780箱確保 ・消毒液1,500本確保 ・フェイスシールド500個確保	計画どおりマスク、消毒液及びフェイスシールドを確保し、部隊員の感染拡大を防止した。
202	経済商工観光振興事業 (以下内訳①~③、③及び④は充当なし)	R2.6	R5.2	新型コロナウイルス感染症の拡大により、多大な影響を受けた県内経済の再生を推進するため取組を実施する。	2,226,194	1,496,629	以下参照	以下参照	以下参照

